

事後評価報告書(日-デンマーク研究交流)

1. 研究課題名:「糖尿病の病因および病態生理における膵β細胞の役割」

2. 研究代表者名:

2-1. 日本側研究代表者:国立大学法人神戸大学大学院医学研究科 特命教授 清野 進

2-2. 相手側研究代表者:コペンハーゲン大学 教授 Nielsen Jens Høiriis

3. 総合評価: (A)

4. 事後評価結果

(1)研究成果の評価について

インスリン分泌を制御している膵β細胞の増殖・再生における分子メカニズムとインスリン分泌、ならびに膵β細胞の増殖における細胞内シグナル伝達の分子メカニズムに関する原著論文の数も多く、研究分担者の業績も優れており、研究成果としては申し分ない。しかしながら、相手側研究チームとの共著論文、著作物が発表されていない事は残念である。

(2)交流成果の評価について

デンマーク側チームから若手研究者が日本で3カ月滞在し、実質的な共同研究が進んだことは評価できる。また、日本側チームの研究者がデンマーク側チームの研究室を訪問し、共同研究ならびに意見交換を積極的に行ったことは共同研究の推進に有用であったようだ。研究代表者が中心となって、「beta Cell Workshop 2013 Kyoto」を開催し、デンマークを中心とするヨーロッパ各国の研究者が日本に一堂に会する機会を生み出した成果は特筆に値する。これらの実績に加えて両国研究代表者が所属する機関以外の研究分担者においても人的交流がもう少し活発であればなおよかった。

(3)その他(研究体制、成果の発表、成果の展開等)

今後、両国チームの共同研究の成果が共著論文化されることに期待したい。